

出穂早い予想！根の活力を維持して、出穂に備えよう！ 斑点米カメムシ類多い！対策を万全に！

山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部

◎ 生育概況

7月20日現在、平坦部「はえぬき」の生育は、平年に比べ、草丈は長く、茎数、葉数はやや多く、葉色はやや淡い状況となっています。

農業総合研究センターの幼穂調査によると、出穂期は平年より1～4日早いと予想しています。

平坦部「はえぬき」の生育（7月20日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈	71.3 cm	66.8 cm	107	長い
茎数	631 本/m ²	614 本/m ²	103	やや多い
葉数	11.8 枚	11.5 枚	0.3	やや多い
葉色 (SPAD)	39.4	40.7	-1.3	やや淡い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

予想出穂期（7月17日現在、農業総合研究センター調べ）

品種名	場所	予想出穂期	平年出穂期	平年差
はえぬき	山形市みのりが丘	7月31日	8月1日	-1日
	鶴岡市藤島	7月28日	8月1日	-4日
つや姫	山形市みのりが丘	8月4日	8月7日	-3日
	鶴岡市藤島	8月6日	8月9日	-3日
雪若丸	山形市みのりが丘	7月31日	8月2日*	-2日
	鶴岡市藤島	7月28日	8月2日	-5日

※過去6か年（H27～R2）の平均値

◎当面の技術対策

7月15日発表の1か月予報（7月17日～8月16日）では、平年に比べ、気温は高く、降水量は並みか少なく、日照時間は並みか多い見込みとなっています。

今後も気温が高い状態が続く見込みであることから、さらに出穂が早まることも予想されます。高品質でおいしい米を生産するために、生育状況を観察し、気象の変動に十分注意しながら、きめ細かな栽培管理を行いましょう。

（1）きめ細かな水管理の徹底 ～間断かん水で根の活力維持、出穂前後は花水～

出穂前までは間断かん水を行って土壌を酸化的に保ち、根の活力を維持します。

また、出穂・開花期は、水を最も必要とする「花水」の時期となります。出穂直前から穂揃期までは2～5cmの水深を保つように管理し、穂揃期後は間断かん水や飽水管理に移行します。

なお、出穂後6～10日頃の高温が最も胴割粒の発生に影響します。高温が続く場合は、

用水の効率的な利用に努めつつ、冷たい水との入れ替えによるイネ群落内の温度の低下に努めます。

台風等の影響で、フェーン現象の発生が予想される場合は湛水し、稲体を保護します。

(2) 斑点米カメムシ類対策 ～もう一度草刈りを徹底！～

斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。斑点米カメムシ類はイネ科植物等の雑草地で増殖するので、まだ、雑草が繁茂しているところがあれば、至急除草対策を行います。

薬剤による斑点米カメムシ類の防除は、出穂状況をよく確認し、穂揃期及び穂揃期7～10日後の2回を基本とします。出穂期前後にやむを得ず草刈りを行う場合は、水田の薬剤防除直前に実施します。

(3) いもち病対策 ～基本防除の徹底～

7月中旬までは、いもち病の感染に好適な気象条件が続き、ほ場内でも葉いもちが散見されています。葉いもちの発生・拡大は、穂いもちの多発につながり、収量・品質に大きな影響を及ぼします。出穂直後の穂は、最もいもち病に感染しやすいことから、穂いもちの薬剤防除は、穂ばらみ後期と穂揃期の2回防除を基本とします。防除時期に雨の日が続いた場合は、防除間隔が開きすぎないように注意して実施します。



つや姫 生育情報

7月20日現在の「つや姫」の生育は、平年に比べ、草丈は長く、茎数、葉数はやや多く、葉色はやや淡い状況となっています。

出穂期は、農業総合研究センター（山形市みのりが丘）では8月4日頃（平年8月7日）、水田農業研究所（鶴岡市藤島）では8月6日頃（平年8月9日）であり、平年より2～3日早いと見込まれています。

食味、品質を高めるポイントは、きめ細かな水管理です。畦畔や排水口の点検・補修、作溝の手直し等を行い、今後も適正な水管理が行えるようにします。

出穂前までの水管理は、異常低温、異常高温時以外は間断かん水を基本とし、根の活力を維持して、今年も高品質・良食味の最高の「つや姫」に仕上げましょう。

「つや姫」の生育（7月20日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈	74.7 cm	67.6 cm	111	長い
茎数	532 本/m ²	519 本/m ²	103	やや多い
葉数	11.6 枚	11.3 枚	0.3	やや多い
葉色 (SPAD)	37.4	38.9	-1.5	やや淡い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう！

農薬危害防止運動実施中